

45年間ありがとう!!・鶴田小

3月7日(月)、新校舎ができるまで間プレハブ校舎での授業が行われるのに伴い、鶴田小学校(古川家光校長)全校児童418人と教職員28人が、今年3月末で45年の幕を閉じ解体される校舎の前で記念撮影を行いました。

撮影では、最後の6年生となった76人が「鶴田小学校舎45年間ありがとう!」と書かれた横断幕を持ち、児童全員で「ありがとう!さようなら!」と手を振りながら、



・6年生と教職員の皆さん

45年間お世話になった校舎への感謝の気持ちを込めて写真に納まっていました。



・全校児童と教職員の皆さん「鶴田小学校舎ありがとう」



1/31 鶴田小学校教諭 技師内山先生が文部科学大臣賞を受賞

2/24 鶴田小学校5学年で親子発音教室が開かれる

2/24 生活改善グループの皆さんが手づくりのお手玉を贈りへ参拝



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

あやめ児童館最後のおひなまつり

3月3日(木)、あやめ児童館(渋谷千賀子館長)で児童館最後となる「ひなまつりお茶会」が開かれ、着物やはかまに身を包んだ年長園児6人がお茶のお点前を披露しました。

お茶会は、園児たちに礼儀作法を身に付けてほしいと毎年3月3日のひな祭りの日に行われており、今年で17回目を迎えます。

この日は五所川原市から江渡社中の江渡宗成さんから5人が訪れ、お茶のたて方やお辞儀の仕方などを年長の園児に指導し、園児たちは茶せんを使ってお茶をたてたり、和菓子やお茶のお運びを体験していました。

また、今回初めてお茶会に参加した国際交流員のエマ・セイヤーズさんは、園児たちのお茶の作法にとても感心した様子で最後まで見つめていました。



①和菓子をお運びする女子園児 ②茶せんでお茶を立てる園児
③このすばらしいお辞儀をご覧ください ④園児たちに感心するエマさん

人生の節目を祝いました・実年式

2月11日（金）、国際交流会館ホールで対象者106人が出席して「第19回鶴田町実年式」（昭和25年4月2日から同26年4月1日までに生まれた方が対象者）が執り行われ、還暦という人生の節目を祝いました。

はじめに「鶴になった男」で有名な高橋良治先生による丹頂鶴についての記念講演が行われ、式典では、中野町長から「皆さまの培ってきた経験と英知は町の宝であります。」と式辞があり、終了後に行われた実行委員会（渋谷信一委員長と各地区の委員）主催の祝賀会では、主催者代表として渋谷実行委員長から「このような盛大な実年式を迎えられたことは私自身感激にたえません。」とあいさつがあり、久しぶりに一堂に会した仲間や同級生たちが昔話に花を咲かせていました。



①式典で町民歌を歌うクレインコーラスと参加者の皆さん ②町民憲章と鶴の里健康長寿の里宣言を朗読する参加者の皆さん ③渋谷信一実行委員長 ④懐かしの写真コーナー



①平和の光当てクイズ ②竹浪さんが自ら描いた創立22周年を祝う絵
③竹浪さんを労う中野町長 ④迫力満点吸盤綱引きトーナメント

「2(ツル)」が5つ並んだ！はげます会

2月22日（火）、町内某所において、今年で創立22周年を迎えた、ツル多はげます会（山田伝造会長）の例会が、1年ぶりに全て「2（ツル）」の並ぶ日に開催されました。

この日は町内外から21人の会員が参加し、誰の頭が日の出の太陽なのかを当てる「平和の光当てクイズ」に続き、恒例の「吸盤綱引きトーナメント」が行われました。実力伯仲の戦いの結果、地元妙堂崎の西村正城さん（84）が見事2度目の優勝に輝きました。

今回の例会にはるばる岐阜県から夫婦で参加した佐久間努さん（72）は「幹事長の竹浪さんが好きで来ている。とても明るく楽しい会なので」と顔をほころばせながら話していました。

最後に、幹事長の竹浪正造さん（94）が「はげの光は平和の光、いつまでもこの光で世の中を明るく照らしていきましょう」と述べ例会が締めくくられました。

伝統芸能が引き継がれる・富士見小

2月15日（火）、富士見小学校（近藤徹校長）で、「獅子舞引き継ぎ式」が行われました。

富士見小学校では、約400年前から学区内木筒地区に継承されてきた「西中野組獅子舞」を後世に伝えようと、統合前の旧木筒小学校時代から学校活動の一環として取り入れています。

式には、全校児童と獅子舞を指導する長内英五郎さん、富士見小獅子舞応援隊の皆さんが参加し、6年生が最後の舞を披露した後、6年生代表田澤駆君が「伝統の重みを感じて、1年間踊り手もはやしも一つになって頑張ってきました。これからの1年間頑張ってください。」と言葉を贈り、5年生たちへ獅子頭や笛太鼓を渡すと、受け取った5年生代表の田澤克君から「たくさんの人たちが踊った獅子舞を大事に引き継いでいきます。」と決意が述べられ、伝統ある富士見小の獅子舞が引き継がれていきました。



①最後の舞を踊りきった6年生 ②お世話になった長内英五郎さんと獅子舞応援隊の皆さんに花束を贈呈 ③5年生へ引き継ぎのこトバを述べる田澤駆君
④伝統の重みを感じながら獅子頭を受け取り決意を述べる田澤克君